

視察（研修）報告書

令和 5年11月10日

府中市議会議長 様
創生会会長 様

会派名又は 創生会
議員名 真田 光夫

日 時	令和 5年10月16日（月） から 令和 5年10月18日（水）
研 修 先	愛知県豊田市、名古屋市（西山商店街）、滋賀県草津市（立命館大学 SOFIX）
研 修 コ ー ス	西山商店街
研 修 タ イ ト ル	西山商店街
参 加 者	創生会、公明党 11名
研 修 内 容	<p>ナゴヤ商店街オープンについて 「ニシヤマナガヤの取組み」</p> <p>○行政との連携 ※連携・協力・魅力的な事業者の勧誘・商店街への加入 A：商店街 + B：まちコーディネーター + C：新規事業者</p> <p>名古屋市には、約 100 位の商店街がある 実績事例</p> <ul style="list-style-type: none">・かさでらのまち食堂（宮本）・みんなで駄菓子屋（大門横丁） <p>なるべく素の意見が出るように心がけている</p> <ul style="list-style-type: none">・ワークショップ・リサーチステージ（2回）<ul style="list-style-type: none">・会議は、空き店舗で行っている・孫の団体アドバイザー・プランニングステージ（3回）<ul style="list-style-type: none">・都築さん（花屋）を応援しようとなった（ファーストペンギン：勇気必要）・プレゼンテーションを行った <p>お試し（1日だけお店をオープンした）今年の2月ごろ 9月30日 オープンした</p> <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none">・商店街、店は街の顔である WHY：コミュニティ、文化、歴史を育む （単純な売買以外の役割がある） これからの街の賑わい、街の姿HOW：複合施設、小さな商店街のような関係性の深化 プライベート的な：非マニュアル 参加できる余地 単純に来たくなる空間：難しい言葉はいらない

名古屋市名東区 西山商店街の話

沿革

2018年 第1回ナゴヤ商店街オープンが西山商店街で開催

2019年 ニシヤマナガヤ 誕生

コンセプト：街のリビング

1F：焼き菓子、コーヒー

2F：レンタルスペースなど

2020年 未完美術館 誕生

展示スペースを作った（近隣の女子大生と一緒に作った）

2021年 Reading Mug 誕生

コンセプト：多様性を伝える本屋

（1日本屋さんをオープンしてみた）

2022年 暮らせる図書館 誕生

コンセプト：くつろぐ図書館

1、自由度が高い空間を作った

2、特技を披露するイベントを行った

2023年 駄菓子屋水都軒

地元の学生さんと一緒に作った

おしゃれな駄菓子屋さん

2023年 コトづくり研究所

コンセプト：みんなで楽しいこと、新しいこと、したいことを
それ以外にも

高級食パン、八百屋、音楽サロン、学習塾、

駄菓子屋、タイカレー屋、ペットサロン

西山商店街とは

- ・S36年 長屋の形式ができた
- ・全長100m程の商店街
- ・S40年ピークを迎える
（小学校1200人、人口7500世帯内 1/4は通勤族）
- ・H4年頃は、大型店が多く建設されシャッター通りになる
- ・解散するのにもお金がかかる
- ・大学生のゼミが商店街を活性化する話を持ってくる
- ・商店街オープン第1号に認定され現在に至る

ワークショップの感想

- ・若い人が考えているのは、私たち世代と違うことにビックリした
- ・1店舗（20坪）あるので全盛期は家賃が30万円
- ・複合体にして家賃を安くした
- ・組合員を増やすことにも成果が上がる
- ・共同駐車場が6台しかないのが課題
- ・SNSで交通機関を紹介
- ・地元の方に足を運んでいただけるように頑張っている
- ・5年前は、5店舗だったが、現在は増えた

質疑応答

Q：この長屋はオーナーさんが別々

A：最初は、住宅公団から、2階付きの住宅としてあった

Q：収益事業にならない店が多いが大丈夫なのか

A：希望は半々であって欲しい

理事長の想いが熱い

	<p>駄菓子屋だけでは経営が難しい</p> <p>Q：熱量がない人をどうするのか</p> <p>A：家賃 10 万～16 万円程度</p> <p>行政としては</p> <p>200 万円の改装費が出る</p> <p>本業とプラス事業と思えば良いと思われる</p> <p>Q：CSR 事業として応援はないのか</p> <p>A：企業も興味を持たれている</p> <p>名古屋不動産が小学校をリノベーションしている</p> <p>Q：副業やものづくりから、ことづくりの商店街で差別化</p> <p>A：女性の 30 代子育ての方をターゲットにしている</p> <p>Q：行政支援</p> <p>A：あまり支援していない</p>
所感	<p>ワークショップ参加で若い世代の発想に驚き、複合施設導入で地域経済に新たな可能性を見出しました。府中市も若者を集め話し合いを行い、街をより魅力的に発展させる取り組みを進めなくてはならないと思いました。</p> <p>商店街の経営課題に直面しましたが、家主と借主のマッチングや新たな事業展望に焦点を当て、持続可能な街づくりにしていく覚悟が見えます。経済的な側面だけでなく、地域社会にも寄与するビジョンを描かれていると感じました。</p> <p>所感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最低 3 名程度の熱い人が集まらないと物事は進まないと思いました。 ・商店街は、戦略性を持ったまちづくりのコンセプトづくりが特に重要だと思いました。 ・女性や若者が、楽しみながらワークショップを重ねることで自信が湧いてきて出店に至ったのだと思いました。 ・女性や若者が欲しいと思っているお店は、私たち世代が欲しいお店と違うという認識が必要だと思いました。 ・商店街を活性化するためには、年間を通じての養成講座（勉強会）が必要だと思いました。 ・事業計画書作成方法から、プレゼンテーションをした後、お試し店をオープンする等のプロセスが重要だと感じた。 ・地元企業の CSR 事業として、府中青年会議所や商工会議所青年部等との連携が必要だと感じた。